

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）チュウキョウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ヨシノ ユウスケ
中京大学	経済学部	吉野 裕介 ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）ナゴミ	フリガナ）タケイ サユリ	4	無
和み	武井 紗祐里		

研究テーマ（発表タイトル）

東京オリンピックの成功～経済発展するためには何が必要か～

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在日本では、2020 年に行われる東京オリンピックに向けて準備が進められている。そのようなオリンピック開催は経済効果が見込める上に、海外に日本をアピールできる絶好の機会であるため、国民も期待している。しかし、何をもって成功と言えるのかという点に疑問を持った。そこでアンケートや過去のオリンピックから私たちなりの“成功”を言及していく。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

1964 年と 2000 年から 2016 年までのオリンピックを検討したところ、オリンピック終了後の施設の使い方に違いが見られた。2004 年のアテネオリンピックや 2008 年の北京オリンピックに向けて建設された施設は現在ではあまり使われておらず、廃墟となっているものもある。一方、2012 年のロンドンオリンピックでは選手村を 1000 戸の住宅としたり、会場を一般開放したりするなどオリンピック後も使用されている。

3. 研究テーマの課題

アンケートにおいて「2020 年のオリンピックを現地へ見に行かない理由」を集計したところ、1 番多かった理由が「時間がない」、2 番目が「金銭面」、3 番目が「距離」、4 番目が「興味がない」という結果が得られた。経済効果向上のためにも現地へ足を運んでもらう必要がある。ゆえに、この 4 つの理由を課題として検討していく。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちが考えた解決策は 5 つある。1 つ目は、「時間がない」という問題に対してオリンピック休暇を作るというものである。これによって現地へ足を運ぶ人の増加が期待できる。さらにオリンピックに行かない人でも休暇を利用して旅行へ行くことも考えられるため消費増加も期待できる。

2 つ目は、「金銭面」という問題に対してセットプランを考案する。これは遠くから来る人のためにリニアモーターカー代とチケット代をセットにし、割引するものである。これによってリニアモーターカーを利用してもらえることや遠方からも現地へ足を運んでももらえることが期待できる。

3つ目は、「距離」の問題に対して映画館や大学等でライブビューイングを行うものである。映画館では有料にする代わりにグッズやオリジナルメニューを販売するこれによって費用回収が期待できる。また大学等では無料で行うことでスポーツに興味を持つ機会になることが期待できる。

4つ目は、「興味がない」という問題に対して会社や学校からのツアーを行うというものである。これによってスポーツを見る機会ができ、スポーツを好きになってもらえることで、オリンピック後でもスポーツをやりたいと思ってもらえる。ゆえにスポーツ業界の発展や健康な国が期待できる。

5つ目は、パラリンピックにおいてバリアフリーに力を入れることである。これによってオリンピック後も輸出が増加し、バリアフリー業の発展に繋がることが期待できる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

約 100 人にアンケートを実施した。その内容は、「2020 年の東京オリンピックを何で見るか」というものと、「その質問で現地以外を選択した人が現地へ行かない理由」を回答してもらうものである。

6. 結果や今後の取り組み

ツアーとバリアフリー強化はオリンピック後に繋がり、セットプランやライブビューイング、オリンピック休暇は費用回収や経済効果向上に繋がるという結果に至った。

7. 参考文献

- ・アンドリュー・ジンバリスト（2016）「オリンピック経済幻想論～2020 年東京五輪で日本が失うもの～」株式会社ブックマン社
- ・喜多功彦（2015）「五輪を楽しむまちづくり」鹿島出版会
- ・アテネ五輪 http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/monthly/pdf/1311_7.pdf（参照 2016.10. 13）
- ・オリンピックの本当の“効果”は閉会後の後に現れる
<http://business.nikkeibp.co.jp/article/topics/20130912/253313/?ST=smart>（参照 2016. 10.13）
- ・東京オリンピックが残したもの http://www.joc.or.jp/sp/past_games/tokyo1964/story02/（参照 2016.10. 13）
- ・東京オリンピックに向けて進むインフラ整備・IT サービス 6 選 <http://cocomachi.tokyo/tokyo-olympic>（参照 2016. 10.28）

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。